

令和 6 年 3 月 1 8 日

令和 5 年度学校評価結果報告書

桶川市立加納小学校

校長 杉山 由美子

1 めざす学校像

「和」を大切にする加納小学校

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・ 運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	B 3.2	校長の示す学校経営方針にしたがい、報告・連絡・相談・見届けまでを組織的に行うようにしてきた。	職員の建設的な意見を読み、一人一人の職員が職責を立派に果たされていることにうれしく思う。
	2	学校は、職員の共通理解、共通行動をもとに、 <u>学級経営</u> を進め、その後の振り返りを行い、検証・改善に取り組んでいる。	B 3.1	学級の課題を担当が一人で抱え込まないよう、学年会議等の時間を中心に、情報連携と共通行動を心がけ、実践につなげてきた。	教師自らの努力を図るべきと思う。職員の共通理解・共通行動が少ないという意見は、自ら情報を獲得する能動的な取組が不足しているのではないかな。
	3	学校は、職員の共通理解、共通行動をもとに、 <u>教科経営</u> を進め、その後の振り返りを行い、検証・改善に取り組んでいる。	B 3.2	教科等部会の時間は確保されているものの、計画的な部会の実施がなされず、分掌主任任せになってしまう状況が見られた。	宿題の量など、担任の先生が変わったからとかではなく、学習のベースのようなものをつくっていただきたいと思う。
	4	学校は、職員の共通理解、共通行動をもとに、 <u>分掌経営</u> を進め、その後の振り返りを行い、検証・改善に取り組んでいる。	B 3.1	3と同様。また、振り返りをもとにした検証・改善の必要性は認識しているので、次年度に向けた部会の開催について分掌主任に依頼をした。	校長先生は信念と自信をもって教職員を指導していつてほしい。共通理解・共通行動についても同様です。応援しています。
	5	学校は、事故やトラブルに対して組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	B 3.2	児童理解委員会等を活用し、組織的に課題解決、児童理解に努めた。必要に応じて、管理職、保護者、担任等を交えて話し合いをもち、迅速な対応に努めた。	保護者の皆様が学校の取組を高く評価していることがわかる。これからも指導は大変だと思うが、めざす学校像の実現に向けて頑張ってもらいたい。
	6	学校は学力の向上を目指し、児童の実態に基づいて、学び合いや少人数等の学習	A 3.5	埼玉県学力・学習状況調査の検証結果に基づき児童の実態を明らかにし、基礎・基	児童が「勉強が楽しい」と評価している割合が高いことからもうなずける結果である。クロームブック、キュービ

確かな 学力		形態を工夫するといった授業改善に努めている。		本の定着とともに、学び合いを通じた主体的な学習を実現できるよう研究を進めた。	ナなどは子供が自分自身で取り組むために導入したものだと思うので、子供がやらざるを得ないような仕組みを工夫して欲しい。
	7	学校は学習規範（落ち着いた態度、礼、返事、話をしっかり聞く、手悪さをしない、忘れ物をしない。…など）を定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B 3.2	「加納小みんなのやくそく」をもとに学習規律等、全教職員で共通理解を深め、共通指導をした。 また、「加納小みんなのやくそく」の内容について、見直しの機会をもった。	子供たちは大変落ち着いた態度で授業に取り組んでいる。 教室の雰囲気も落ち着いている。 また、児童の挨拶が元気でよい。
	8	学校は、家庭学習の習慣を付けるよう取り組んでいる。	A 3.4	年度当初に「家庭学習の手引き」を配付した。また、期末の持ち帰りに伴い、家庭学習での活用についても進めることができた。	保護者からも学校の取組が高く評価されている。 クロームブックを活用しての取組はよかった。持ち帰りが大変なことを改善できるとさらに良い。
生徒指導・ 教育相談・ 特別 支援 教育	9	学校は、豊かな心の育成に努めるとともに、いじめや問題行動を見逃さずに解決に向けて取り組んでいる。 (生活アンケート、個別指導等)	B 3.3	日々の指導や、定期的なアンケートの結果等から児童の変容を見逃さないように努め、必要に応じて組織的に個別指導を行った。その他、道徳の授業の充実、教科指導や全校朝会・学年集会等の全教育活動で人権尊重の感覚を育成する機会を設けた。	保護者による評価も高く、学校への信頼が厚いことがうかがえる。 ふれあいコンサートなどの交流事業を開催できたことはよかった。また、遊ぼう会など、縦割りの行事で学年間の交流ができたことはよかった。
	10	学校は、規範意識に対して、全職員の共通理解・連絡調整・確認が図られ、組織的な指導が行われている。(児童理解委員会等)	B 3.3	毎月全校共通の生活目標を提示し、各学年・各学級ともその目標達成に向けて取り組んでいる。個別の事案についてケース会議を積極的に実施していく。	学校のルールを守らせるよう、保護者に子供の教育をしてもらうよう発信することも必要ではないだろうか。
健康・体力	11	学校は、児童の体力向上に向け、元気タイムの計画、授業の年間指導計画を立て、実施している。	B 3.3	体育館のエアコン設置のため、使用できない期間についても計画的に体育を実施することができた。	保護者の評価が非常に高い。 体育館工事のため、計画的に実施することは大変だったと思う。工夫をしてよくできていたと思う。
	12	学校は、学級での給食指導が適切に行われ、食に関する意識を高めようとしている。	B 3.3	栄養技師、養護教諭を中心として食物アレルギーへの対応をきめ細かく行った。 黙食をやめたことで、楽しく会食する姿が見られるようになった。校内放送による	小学校から食に関する意識を高めることは非常に重要なことだと思う。給食の充実を図って欲しい。食材費の高騰などもあるので、寄付など受け付けてはどうか。

				食育を毎日実施している。	
学習環境	13	学校は、温かさと潤いのある学ぶ環境作り（明るくあいさつを交わす、歌声が響く、清掃が行き届いている、掲示物等が整えられているなど）を組織的に進めている。	B 3.2	音楽朝会を2学期から参集型で実施することができた。 様々な環境整備についても学校、保護者、地域が連携し子供たちの学ぶ環境を整えることができた。	整備され、心温まる掲示物等、工夫が凝らされている。
	14	学校は、教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。（各教科等）	B 2.9	教材室の整備を行い、より活用しやすく分類・表示を行った。 多くの教材備品の代用品としてICT機器が大きな役割を果たしているものの、接触不良など、耐用年数等の関係から新たに整備の必要な備品が出てきている。	校舎を含めて、老朽化が出てきた。備品を買うことも必要。予算が少ない中で優先順位を付けていくとよいと思う。学校内の設備・教材備品についても予算等あると思いますが、最低限、市内の学校で足並みをそろえていただきたい。子供たちがよりよい環境で学べることを期待している。
教職員の資質の向上	15	学校は、教職員一人一人の自覚を促し、教育公務員として服務規律を遵守し、保護者・地域の信頼を築くよう努めている。	A 3.4	教職員倫理確立委員会をはじめとし、校内研修会等、状況に応じた服務等について学ぶ機会を設け、教職員事故防止について確実な取り組みを行った。	心身の健康を維持し、皆様が日々務められることを期待している。
	16	学校は、教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B 3.2	学校課題研究を通じて、全職員が「根拠と理由の問い返し」のスキルを向上させている。 授業公開週間を通じて、相互に授業を見合ってスキルアップを図る取り組みを活性化させることが課題である。	周囲の環境は日々変化していくので、職員の皆様もアンテナを高くして多方面の知識・情報をつかんで成長していった欲しい。
家庭・地域との連携	17	学校は、学校だよりやホームページ等、また参観の機会を設けるなどして、積極的に教育活動を公開し、情報提供している。	A 3.4	ホームページには学校での児童の様子が分かるように写真等を掲載し保護者、地域の方々に毎日教育活動を公開した。 e-メッセージを通じて、防犯だけではなく、PTAとも連携して必要な情報や行事	学級通信を連絡帳に一本化したことは合理的でよいと思う。子供が親に見せない方が問題なので親・子へ発信を要するのではないかな。

				等のお知らせなどを配信した。 公開日や参観については、5類への移行を受けて、制限なしでの公開を実施した。	
	18	学校は、保護者や関係者等と連携し、通学路の危険箇所の確認等地域の安全、児童への安全対策が適切に行われている。	B 3.2	定期的な下校指導・通学班指導に加え、交通指導員、安全ボランティア、PTA 等の方々にご協力いただき、見守りを行った。また、防犯懇談会を開き、児童の安全確保について話し合いをもった。	保護者の評価は非常に高い。今後も自信をもって取り組んでいただきたい。学校周辺の環境整備、登下校の見守り、危険箇所等は地域・自治会と情報の共有及び実施行動することを望みたい。